

地域医療連携推進法人北河内メディカルネットワーク（KMN）

地域医療連携推進評議会 議事概要

1. 開催日時 : 2026 年 6 月 2 日（火）15 時 00 分～16 時 10 分
2. 開催場所 : 関西医科大学枚方学舎医学部棟 13 階「法人大会議室」
3. 構成員総数 : 5 名
4. 出席構成員 : 藤本良知、谷本雅洋、大浅田寛、上田伸一、
吉野敬昌（意見書提出による出席）
その他出席者 : 山下敏夫（代表理事）

5. 議 案 : (報告事項)

- 第 1 号議案 2025 年度の主な事業活動について
第 2 号議案 2025 年度決算について
第 3 号議案 2026 年度事業計画・予算について

6. 議事の経過及びその結果 :

開会に先立ち代表理事から挨拶があった。また、事務局が出席者の確認を行い、本日の評議会は構成員 5 名全員が出席（内、1 名が意見書提出による出席）し、定款第 45 条に基づき有効に成立することが確認された。

定款第 47 条に基づき、出席した構成員の互選により藤本良知 枚方市医師会名誉会長が議長に選出された。議長は各構成員に自己紹介と挨拶を依頼した後、評議会の開会を宣した。

議事の経過の要領及びその結果は次の通り。

(報告事項)

第 1 号議案 2025 年度の主な事業活動について

議長の求めに応じて、事務局から 2025 年度に実施した主な事業活動について資料に基づき報告があった。構成員からの主な評価、意見及び回答は以下の通り。

- ・各共同研修について参加者に対し、アンケートの回答者が少ない点について意見があった。事務局から、研修資料にアンケートフォームへつながる QR コードを添付する等、回答率を上げるための工夫をしているが、効果が出ていない旨回答があり、今後も検討を続ける旨意見があった。
- ・医療界に限らず人材不足はどの業界でも深刻な問題であり、KMN 相互人材派遣プラットフォームの成果に期待している旨意見があった。
- ・セクハラ・パワハラのみではなく、患者や患者家族による「カスタマーハラスメント」への対応方針を定めてはどうかと意見があり、事務局からまずは KMN 加盟病院の現状把握を行い検討を進めていく旨回答があった。
- ・共同購買について、中東情勢悪化に伴うナフサ不足のような不測の事態に備えて、医療材料を KMN の関連業者を通じて融通できないか、また KMN 内で相互融通ができない

かの検討が必要と意見があり、代表理事から社会情報をよく見極め検討を行う必要があると回答があった。

第2号議案 2025年度決算について

議長の求めに応じて、事務局から2025年度決算について資料に基づき説明があった。続いて、議長から本議案に関する評価、意見の確認があり、構成員から適切に業務が遂行されていると評価された。

第3号議案 2025年度事業計画・予算について

議長の求めに応じて、事務局から2025年度事業計画・予算について資料に基づき説明があった。構成員からの意見は以下の通り。

- ・KMNが取り組む新しい医療安全のネットワーク構築について、病院間での連携の重要性、診療報酬上でのメリットについて言及があり、非常に重要な取り組みである。

以上、議長は地域医療連携推進法人北河内メディカルネットワークの地域医療連携推進評議会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。また、閉会に際して代表理事から挨拶があった。

以 上